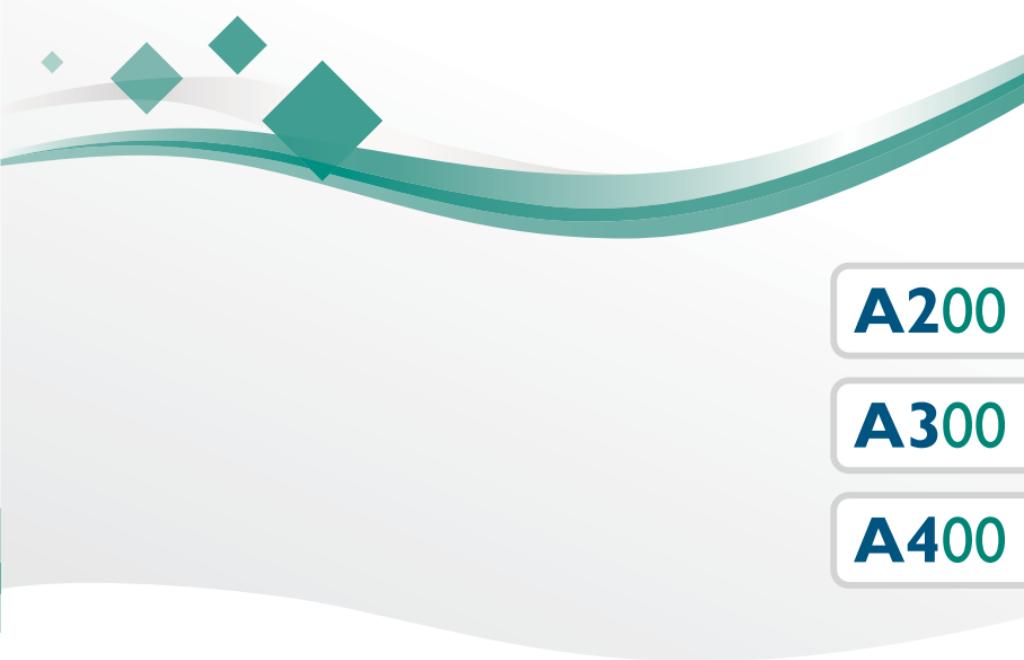




# Domino A-Series

## ユーザガイド



**A200**

**A300**

**A400**

# 目次

|   |    |
|---|----|
| 健康と安全 .....                                       | 3  |
| はじめに .....  | 3  |
| 基本的な必要事項 .....                                    | 3  |
| 保管 .....  | 4  |
| 火災防止 .....  | 5  |
| インクの処理と廃棄 .....                                   | 6  |
| 操作 .....  | 7  |
| 起動と停止 .....                                       | 7  |
| 始動手順 .....  | 7  |
| 停止 (オパーク以外) .....                                 | 8  |
| 停止 (オパーク) .....                                   | 8  |
| 長時間停止 (オパーク) .....                                | 9  |
| ユーザー保守 .....                                      | 10 |
| FoodGrade の保守 .....                               | 10 |
| プリントヘッドのクリーニング .....                              | 11 |
| インク・リザーバの交換 .....                                 | 12 |
| インクとマークアップ・カートリッジの交換 .....                        | 15 |
| メインフィルタの交換 .....                                  | 16 |
| プリント制御 .....                                      | 18 |
| 画面コントラスト .....                                    | 18 |
| 一般情報 .....  | 18 |
| プリント制御 .....                                      | 19 |
| コントロールパネル .....                                   | 19 |
| 画面 .....  | 20 |
| ジェットオン / オフスイッチ .....                             | 21 |
| トピックキー .....                                      | 22 |
| 汎用キー .....  | 23 |
| ヘルプキー .....                                       | 24 |
| 通貨キー .....  | 24 |
| ロックアウト .....                                      | 24 |
| パスワード・システム .....                                  | 24 |
| ユニコード文字入力 .....                                   | 25 |
| 共通ユニコード文字<br>(Common Unicode Characters) 画面 ..... | 25 |

|                        |    |
|------------------------|----|
| データの入力と出力              | 26 |
| メモリカード                 | 26 |
| バックアップ / 復帰カード         | 26 |
| ユーザーポート                | 26 |
| メッセージ作成                | 27 |
| メッセージを作成する方法           | 27 |
| 時計を入力する方法              | 27 |
| 時計オフセットを設定する方法         | 28 |
| 特殊フィールド                | 28 |
| メッセージに連番を入力する方法        | 28 |
| メッセージにシフトコードを挿入する方法    | 30 |
| テキストフィールドに入力する方法       | 30 |
| マシン読み取りコード (MRC) を作成する | 31 |
| バーコードを作成する             | 32 |
| ロゴを複数入力する              | 34 |
| 1つのロゴを入力する             | 34 |
| メッセージの保存               | 34 |
| メッセージの印字               | 34 |
| 印字パラメータ                | 35 |
| メッセージオフセット             | 35 |
| 印字開始位置                 | 35 |
| 文字の高さと文字幅              | 36 |
| メッセージ方向                | 36 |
| 反転印字                   | 36 |
| 転倒印字                   | 37 |
| リピート印字                 | 37 |
| メッセージ入力                | 38 |
| メッセージの出力               | 38 |
| 障害の検出                  | 39 |
| プリンタ故障                 | 39 |
| 電源表示ランプが点灯しません         | 39 |
| 印字しません                 | 39 |
| 印字位置が不適当です             | 39 |
| 印字サイズが小さすぎます           | 40 |
| ガターからインクがあふれています       | 40 |

# 健康と安全

## はじめに

Domino 社では、本機で使用しているインク、メーカアップ液、洗浄液について製品安全データシート (SDS) を提供しています。各容器にも健康と安全に関する警告ラベルを貼付しています。従って、以下では、一般的な手引きについてのみ説明します。

## 基本的な必要事項

印字用インクは、正しく使用すれば問題を起こすことはありません。当機を使用する人は、適切な安全規格に精通し、行なうべき予防措置を知つていなければなりません。以下に基本的な必要事項について説明します。

- ・ 製造業における常識的な清潔、整理状態を維持する。
- ・ インクおよび容器は注意して保存し、取り扱う。
- ・ インクに直接触れた人は、その使用について適切な指示内容を知っておく。

安全操作の訓練の方法はその環境によって異なります。必要な予防措置が取れるための一般的な注意事項を以下に説明します。

- ・ 口からの摂取を避けるために、飲食、喫煙、またはインクが口に入る可能性があるその他の個人習慣は避けなければなりません。
- ・ インクが目に入ることを避けてください。インクが飛び散ったり、霧状に飛び散る危険性があるため、常に防護眼鏡をかけなければなりません。万一インクが目に入った場合、応急措置として、目を塩水に 15 分間浸します（塩水が無い場合、浄水を使用します）。インクが入っていない片方の目に水が入らないように注意してください。すぐに医師の診断を受ける必要があります。
- ・ ほとんどのインクには、肌に傷つける溶剤が含まれています。この警告のための SDS が用意されています。直接の接触を防ぐためのクリームを使用したり、保護服を着用してください。ラテックス過敏症である場合、ゴム手袋の下にニトリルまたは綿製の手袋の着用を推奨します。ゴム手袋の替わりにニトリルの手袋を使用することはできません。

- 大部分のインクには、蒸発しやすく、吸入の可能性がある材料が含まれているため、十分な換気が必要です。
- 使用済みのクリーニング用素材、たとえばラグ、ティッシュなどは燃える危険性があります。これらは、使用後回収し、安全な場所に捨ててください。
- インクに触れた場合、一番近くにある手洗い場所でインク跡をできるだけ残さず、洗い流す必要があります。

一部のインクは食品に間接的に触れる場所に印字することが認められています。このような場合は、衛生上適切な処置に加えて以下の予防措置を取る必要があります。

- この場合のインクは、これらのインク専用の新しいプリンタで使用しなければなりません。修理、交換には、純正の新しい未使用付属品を使用してください。
- このインクは、どの場合でも、どんな目的でも、過去に使用済みのプリンタで使用しないでください。

「食品用」インクを使用しているプリンタは、別のインクのプリンタとして使用することはできますが、別のインクを使用したプリンタを食品用インクに使用することはできません。

## 保管

印字用インクは換気の良い建物、または火災に備えて安全のために選択された場所に保管する必要があります。揮発性で燃えやすい溶剤は、その地域の規則によって保管しなければなりません。

## 火災防止

電気火災の消火には、水を使わないでください。ニトロセルローズを含むインク火災（下記参照）などで、水を使用しなければならない場合、最初に必ず電源を外してください。

インクジェットプリンタで使用するインクのほとんどは、ニトロセルローズを結合材として使用しており、乾燥すると可燃性が高い状態になります。プリンタに表示される全ての警告を確認し、以下の安全指示に従ってください。

乾燥したインクが蓄積している場合、鉄金属（鉄、鋼）のスクレーパで削り落とすと火花を生じるため、このような工具は使用しないでください。

- ニトロセルローズを含むインクが発火すると、特有の酸素が生成されるため、このような場合は、水で温度を下げることが唯一の消火方法です。
- ニトロセルローズによる火災が発生した場合、水で消火する前に、速かにプリンタの電源コードを外してください。

火災の危険は、印字用インクを保管、使用する場合に最も考慮しなくてはならない問題です。火災危険度はその使用するインクまたは溶剤の種類によって大いに異なります。

水性インクは燃えませんが、水とアルコールの混合インクは、十分なアルコールがあれば燃える場合があります。水性インクを高温下で長時間置くと水分が蒸発し、燃え易い成分が残ります。

溶剤ベースのインクは、特定の溶剤、または溶剤の組み合わせによって危険度が高くなります。特定の危険性がある場合、SDSに適切な情報が記載されています。

インクジェットプリンタは、印字に使うインク粒にわずかの静電荷を加えています。このような静電荷は印字表面にインク粒が到達する場合などほとんどの場合、伝導されて放散するかもしくは、蓄積されることはありません。ただし、メンテナンス中にインク粒がビーカーなどの容器に集められることがあります。この容器は、導電性素材で作られており、確実にアースに接触されていなければなりません。これによって、静電気は安全にアースへ伝導されます。

もし火災が起きた場合、危険な発煙が印字用インクから発生します。このような理由で、インクは消防作業によってすぐに取り出せ、延焼する可能性が無い場所に保管しなければなりません。

## インクの処理と廃棄

**警告 :**乾燥したインクの一部は、非常に燃え易くなっています。

インクがこぼれたら、すみやかに掃除してください。インクの乾燥、またはこぼれたインクの乾燥蓄積を避けてください。

こぼれたインクは、直ちに適切な溶剤で拭取ります。その際、作業者の安全に留意してください。こぼれたインクや拭取り後の残留物が下水や排水溝に流れ込まないように注意を払ってください。

インクと関連溶剤は導電性物質です。このためプリンタ内でこぼれたインクを拭取る際はプリンタのスイッチを切ってください。

印字用インクと関連溶剤は一般廃棄物として処分しないでください。その地域の規則に従って廃棄しなければなりません。

# 操作

## 起動と停止

### 始動手順

キャビネット左横 (A400 は裏側) の押しボタン ① を押します。

注意 : 起動には約 40 秒かかります。

- ・「お待ちください (Please wait)」というメッセージが画面に表示されます。
- ・ジェットオン / オフキーの緑色の表示ランプが点滅し始めます。
- ・状態バーに「プリンタの初期化中 (Printer Initialising)」というメッセージが表示されます。画面とキーの詳細については、[ページ 18 ~ ページ 24](#) を参照してください。

注意 : ジェットオン / オフキーのオレンジ色の警告ランプが点滅し、画面上の警告バーにメッセージが表示されます。

- ・状態バーのメッセージがプリンタオフ (Printer Off) に変わり、緑色の表示ランプの点滅を消え、プリンタがオフの状態になります。
- ・A400、A300、A200、( プリンタタイプによる ) のいずれか、または Domino ロゴが画面に表示されます。

これでプリンタのジェットスイッチを入れるための準備が完了しました。

ジェットオン / オフキー (②) を「ピッ」という音が聞こえるまで ( 警告音を設定している場合 ) 2、3 秒押します。

注意 : ジェットの投入が自動的に完了するまでには約 70 秒かかります。

- ・状態バーに「シーケンスオン (Sequencing On)」というメッセージが表示されます。
- ・ジェットオン / オフキーの緑色の表示ランプが点滅し始めます。
- ・状態バーのメッセージが「印字準備完了 (Ready to Print)」に変わり、緑色の表示ランプが点灯します。

プリンタは、メッセージを印字可能な状態です。

## 停止 (オパーク以外)

- (1) ジェットオン / オフキー  を 2 秒間押すか、または「ピッ」という音が聞こえるまで ( 設定している場合 ) 押します。
- (2) 状態バーに「シーケンスオフ (Sequencing Off)」というメッセージが表示され、ジェットオンキーの状態表示ランプ ( 緑 ) が点滅し始めていることを確認します。
- (3) スイッチをオフにしてから約 3 分後に、状態バーのメッセージがプリンタオフ (Printer Off) に変わり、状態表示ランプの点滅が止まっていることを確認します。
- (4) ① キャビネット左横 (A400 は裏側) のスイッチを押して、プリンタのスイッチを切ります。

## 停止 (オパーク)

ジェットオン / オフキー  を 2 秒間押すか、または「ピッ」という音が聞こえるまで ( 設定している場合 ) 押します。

注意 : プリンタ停止の手順は自動化されており、完了するまでに約 3 分間かかります。

状態バーに「シーケンスオフ (Sequencing Off)」というメッセージが表示されます。

ジェットオン / オフキーの緑色の表示ランプが点滅し始めます。

状態バーのメッセージが「ウェイクアップモード可能 (Wake-up Mode Enabled)」に変わり、緑色の表示ランプの点滅が止まって、消えたままになります。

プリンタは自動ウェイクアップ状態になり、20 分間隔でおよそ 2 ~ 3 分間、電源がオンになります。

## **長時間停止（オパーク）**

注意：やむを得ない場合や、プリンタを別の場所に移動する場合  
を除いて、プリンタの電源を切らないでください。

プリンタを最長 7 日間使用しない場合、ガターが完全にきれい  
になるよう、自動洗浄サイクル中に適切な洗浄液を使ってガ  
ターを洗浄してください。プリントヘッドのその他の部分を清  
掃して、プリンタをウェイクアップモードのままにしておいて  
ください。

保管したり、移動したり、または頻繁に使用しなかつたりで、プリ  
ンタの停止が 7 日間以上になる場合、以下の手順でインクシ  
ステムを遮断し、プリンタを良好な状態で保管してください。

- (1) ガターが完全にきれいになるよう、自動洗浄サイクル中に  
適切な洗浄液を使ってガターを洗浄してください。プリント  
ヘッドのその他の部分を清掃してください。
- (2) プリンタのその他の部分を清掃して、ウェイクアップモー  
ドのままにしておいてください。
- (3) ウェイクアップモードの期間中粘度を維持するため、メー  
クアップカートリッジを取り付けたままにしておいてく  
ださい。

注意：プリンタを始動する前にリザーバをよく振ってください。

## **ユーザー保守**

### **FoodGrade の保守**

FoodGrade プリンタを点検する場合は、以下の点に従う必要があります。

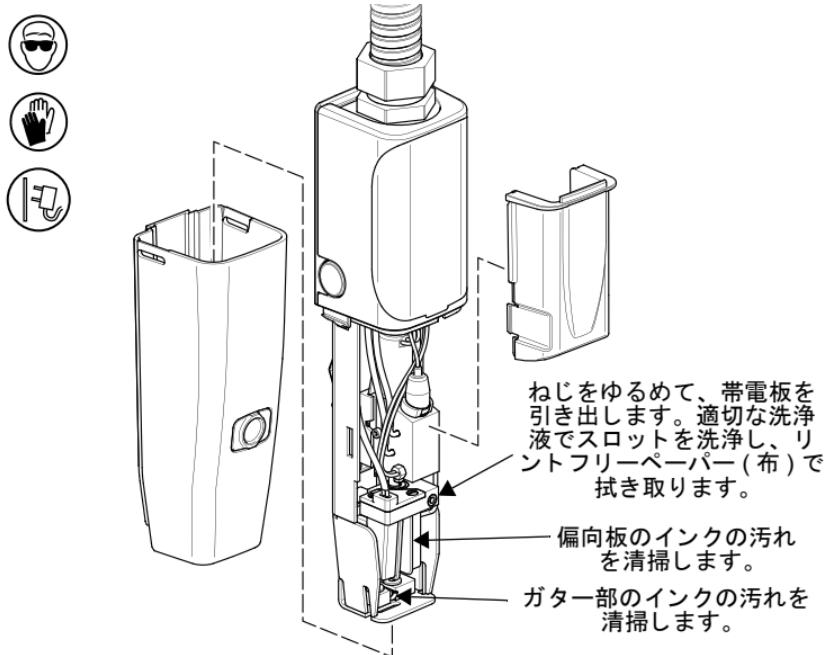
- FoodGrade 以外のインクに交換しない。別の FoodGrade インクが必要な場合は、該当する法律的立場について、必ず Domino にお問い合わせください。
- 適切な (FoodGrade の) 洗浄液のみを使用していることを確認する。
- すべての作業を清潔な場所で行う。
- FoodGrade のプリンタには Loctite や潤滑剤を使用しない。

**警告 : 修理や保守で交換する FoodGrade の部品には、必ず同一の Domino FoodGrade 部品を使用してください。**

以上の指示に従わない場合、プリンタが汚染される危険があります。

## プリントヘッドのクリーニング

プリンタを停止する必要があります。プリントヘッドをメンテナンスホルスターに取り付けます。



## インク・リザーバの交換

注意：オパークプリンタでは、この手順の一部として、メインフィルタとダンパを交換する必要があります。『操作および保守マニュアル』の「保守」セクションを参照してください。

「24時間以内にインク交換 (Ink change needed in less than 24 hours)」または「2時間以内にインク交換 (Ink change needed in less than 2 hours)」というメッセージが表示されたら、インク・リザーバの寿命が終わりに近づいています（寿命が長いシステムを使用している場合、上記の警告は、インク・リザーバの寿命が終わる 300 時間前及び 24 時間前に表示されます）。インク・リザーバの寿命を超えて印字を継続することはできません。

インク・リザーバの寿命を交換する際に、新しいインク・リザーバの品質コードを入力し、インク・リザーバ交換の警告ランプを以下の手順でリセットしてください。

- (1) マシン設定キー  を押し、必要なパスワードを入力してください。
- (2) キーパーのスクロールキーを使用して、画面の一番下にある ①② リザーバ交換  オプションを探します。
- (3) 「リザーバ交換 (Change Resvr)」と記されているファンクションキーを押すと、画面は新しいインクリザーバに印刷されている品質コードの入力を促すメッセージに変わります。
- (4) リザーバ品質コードを入力します。
- (5) 「OK」と記されているファンクションキーを押します .

新しいコードを入力すると、画面は「品質コード OK - リザーバを取り付けてください。 (Quality Code OK - Fit Reservoir)」というメッセージを表示します。インク・リザーバのランタイムがリセットされ、警告が解除されます。手順 (6) に進みます。

間違えた番号を入力した場合は、再度入力して訂正できます。無効な番号を入力した場合は、受け付けられず、不適当なインクタイプ (Incorrect ink type)、使用期限切れ (Ink out of date)、またはインク・リザーバ使用済み (Resvr already used) (古いインク・リザーバ番号) などのメッセージが情報バーに表示されます。問題があるインク・リザーバは交換する必要があります。

- (6) 正しい手順でプリンタを停止します .
- (7) プリンタのスイッチを切ります .

次の手順でインク・リザーバを交換します。

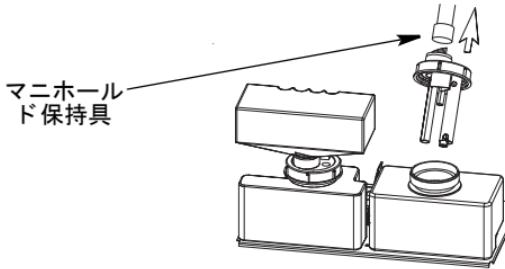
注意： (1) この手順では、インクがこぼれた場合に使用する工業用ティッシュが必要です。

(2) メークアップリザーバを交換することはできません。

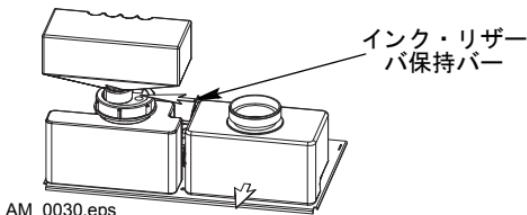
インクカートリッジを取り外します（以下の図を参照してください）。マニホールドロクリングを外し、インク・リザーバからマニホールドを持ち上げ、インクキャビネット上部の内側にあるマニホールド保持具の中にマニホールドを固定します。

インク・リザーバにキャップを取り付けます。金属製インク・リザーバ保持バーを押して、インク・リザーバを手前に引いて取り出します。

新しいインク・リザーバは、上記と逆の手順で取り付けます。次にプリンタの電源を入れるときに、「インクシステムブリード中 - お待ちください ...」と表示されます。

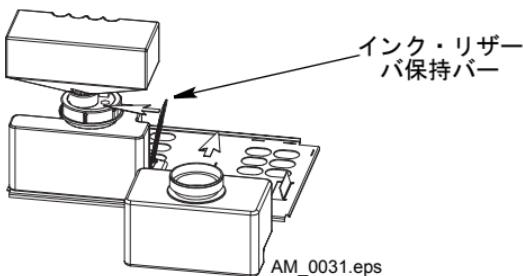


AM\_0029a.eps



AM\_0030.eps

インク・リザーバの取り外し



AM\_0031.eps

インク・リザーバの再装着

## インクとメーカーアップ・カートリッジの交換



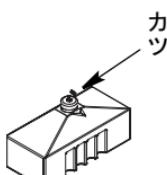
注意：プリンタで使用されているインクが少量の場合、インク・カートリッジを取り付けることは必要ではありません。インク・マニホールド・シールをそのままにし、画面に要求メッセージが表示されている時にのみインク・カートリッジを取り付けてください。

インクまたはメーカーアップ・カートリッジの交換が必要な場合は、「インク・カートリッジ追加」または「メーカーアップ・カートリッジ追加」というメッセージがフロントパネルに表示され、黄色のアラートが点滅します。

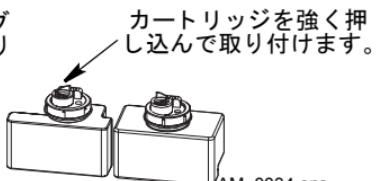
インク・カートリッジは、時計と反対方向に回転させて持ち上げます。メーカーアップ・カートリッジは、時計方向に回転させて持ち上げます。このメカニズムによって、カートリッジが間違えたマニホールドに取り付けられていないことを確認できます。

カートリッジを取り付けるには、タブシールを切り取り、正しいマニホールドに押し込みます。

注意：オパークインクカートリッジは、取り付ける前に2分以上は十分に振っておく必要があり、マニホールドに入れたらまにしないでください。インクマニホールドシールをそのままにし、画面に要求メッセージが表示された時にのみインクカートリッジを取り付けてください。



カートリッジオープニングツールを使用して蓋を切り取ります



カートリッジを強く押し込んで取り付けます。

### カートリッジの交換

メーカーアップカートリッジを交換しないと、メーカーアップリザーバが空になり、インク粘度が最終的に使用範囲から外れます。また、プリンタを停止した時にヘッドの洗浄が行われず、インクがプリントヘッドのコンポーネントに付着します。このため、プリンタが使用可能であってもヘッドの故障が発生することがあります。

## メインフィルタの交換



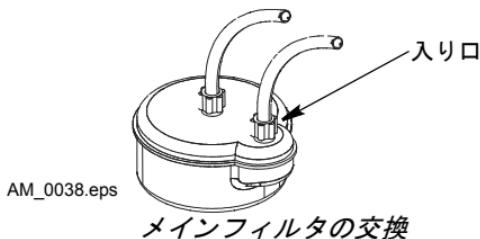
**警告 :** メインフィルタとダンパー モジュールは外見が似ています。間違えないよう確認してください。

**注意** (1) 必要な工具: リントフリー・ティッシュ (漏れたインク拭取り用) 16 mm スパナ ([手順\(4\)](#) を参照) 保護服 (特に安全眼鏡)

(2) 一度使用したフィルタは、再度使用しないでください。プリンタは必ず停止し2つのカートリッジは両方とも取り外してください。

- (1) 固定ネジを外し、インクシステムを引き出します。
- (2) インクシステムの手前にフィルタを移動し、パイプの接続を記録します (次のページの図を参照)。
- (3) 新しいフィルタから栓を外し、古いフィルタ用にとっておきます。
- (4) 古いフィルタからコネクタを外し、新しいフィルタを同じ方向 ([手順\(2\)](#) で記録した通り) に取り付けます。指でナットを締め、スパナで更に1.5回転締め付けます。
- (5) [手順\(3\)](#) で外した栓を古いフィルタに取り付けます。
- (6) 以下の手順で、低い圧力で新しいフィルタにブリードを実施してください。
  - (a) 「サービス (Service)」ボタンを押してパスワードを入力し、「サービス (Service)」画面を表示します。
  - (b) 画面の下部のスクロールメニューから「インクシステム (Ink System)」ボタンを押し、「インクシステム (Ink System)」画面に移ります。
  - (c) 目標圧力を記録した後、一旦圧力を 1000mbar に設定し、OK を押します。「インクシステム (Ink System)」ボタンを再度押し、「インクシステム (Ink System)」画面に戻ります。

- (d) 画面下部のメニューをスクロールし、準備シーケンス(sequence to standby)を押します。プリンタを3分から5分ほど運転させてフィルタ内部にインクが蓄積される際にインクが漏れていないかどうかをモニタします。
- (e) 「シーケンスオフ(sequence off)」ボタンを押します。
- (f) 目標圧力を、手順(c)で記録した元位置に戻し、OKを押します。
- (7) フィルタを元の位置に戻し、カートリッジを再装着します。



# プリンタ制御

## 画面コントラスト

画面コントラストは、文字セットキー（青）を押し、プラスマイナス（+ / -）キーを使って読みやすいように調整できます。

## 一般情報

キーボードの使用について一般的な情報を以下に説明します。例えば、入力を誤った時に文字を消す必要がある場合、カーソルキー（[ページ 23 参照](#)）を使って強調表示バーを該当文字に移動できます。削除キーを押すと（[ページ 23 参照](#)）、その文字は消去されます。新しい文字は、常に強調表示の直ぐ前に挿入されることに注意してください。従って、削除した文字と同じ箇所に置き換え文字が必要な場合、その強調表示を移動せずに新しい文字を入力します。

フォント（文字）サイズ、太字、ダブルスペースは、ファンクションキーのオプションとして選択できます。キーを押すと、オプションが起動され、それ以降の入力内容に対してサイズ設定／太字／スペース変更がそれぞれ実行されます。これは再度キーを押すまで有効になります。

値は、プラスマイナスキー（[ページ 23 参照](#)）を使って入力したり、変更できます。プラスマイナスキーを使用して変更した値は直ぐに反映されます。それに対して、数字キーを使用して入力された値は、OK またはファンクションキーを使用してそれに相当するものを選択した場合、またはプラスマイナスキーを押したときにのみ有効になります。

フォントサイズは、カーソルの縦のサイズで示されます。大きなサイズのフォントが複数行のメッセージに挿入されると、その他の文字は自動的に大きなサイズに調整されます。

注意：以下の属性／パラメータをスペシャル設定として個々のメッセージに設定したり（メッセージ編集を使用）、プリンタのグローバル設定として設定することも可能です（印字設定を使用）。

太字

メッセージリピート

反転／転倒

個々のメッセージ設定は、グローバル設定よりも優先されます。

画面下部のキーラベルは、必要なオプションを直ぐには表示しないことがあります。必要に応じて、スクロールキー（[ページ23 参照](#)）で画面上でオプションを移動します。オプションを選択するには、画面のラベルの下にあるキーを押します。

## プリンタ制御

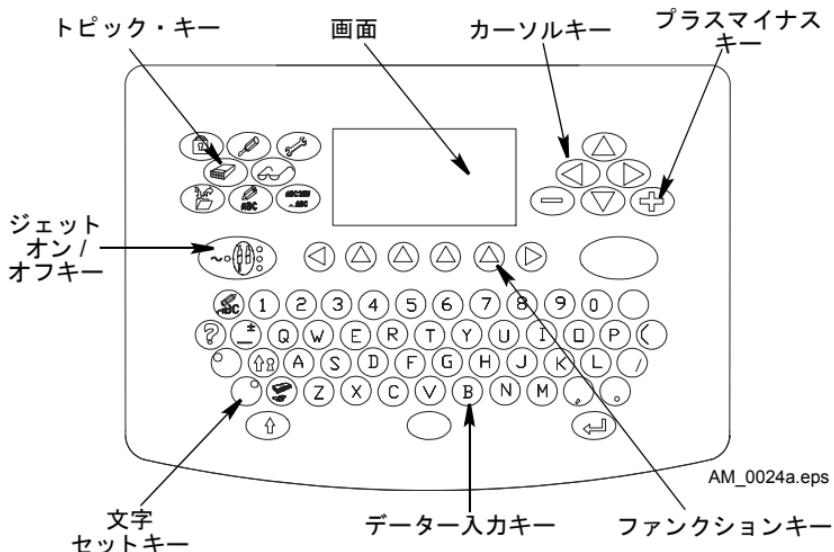
プリンタは、キャビネットの横（A400 の場合は後ろ）のボタンスイッチを押して電源をオンにします。これによって電源がプリンタ全体に供給され、その後、プリンタの制御がフロントパネルへ送られます。

## コントロールパネル

プリンタは、全てフロントパネルを通じて制御されます。コントロールパネルには以下の 2 種類のキーが付いています。

- ・機能単一の固定のキー（ほとんどのキーがこの種類です）
- ・ソフトウェアの制御によって機能を変えられるファンクションキー。

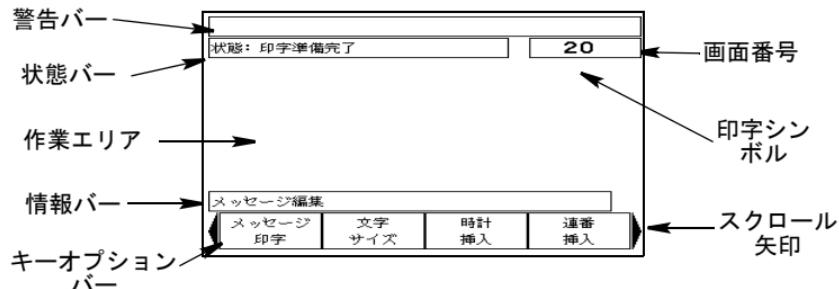
フロントパネルを下図に示します。



フロントパネルのキーボードレイアウト

## 画面

下図は基本的な画面構成です。



**警告バー**は、プリンタへの警告が発生するとメッセージを表示します。メッセージは、任意の文字キーまたはスペースキーを押して警告が確認されるまで点滅し、その後続けて表示されます。警告条件が取り除かれるときメッセージは消えます。2つ以上の警告が同時に発せられた場合は、最も優先順位の高い警告が表示されます。未確認の警告は常に、確認済みの警告よりも優先順位の高い警告です。

**状態バー**は、プリンタの状態と、警告以外のその他の情報を表示します。

**作業エリア**は、使用中の機能の一般的な情報を表示します。

**情報バー**は、通常その時点で選択されているレベルを表示しますが、一般的な情報も表示します。

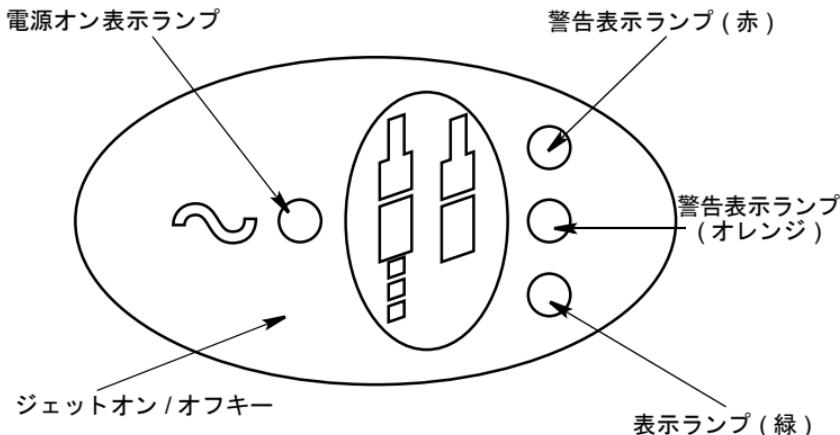
**キーオプションバー**は、一度に4つまでのキーオプションを表示します。キーオプションとは画面のすぐ下にある4つのファンクションキーのラベルのことです。キーオプションは、4つ以上のキーオプションがある場合に、ファンクションキーの両側にあるキーによって左右に4つずつスクロールします。これらをスクロールするとキーラベルは変わり、各ファンクションキーの機能もラベルに応じて変化します。

**画面番号**は、各画面の番号を表示します。

**スクロール矢印**は、ディスプレイ以上に広がっている画面の詳細を示します。隠れている画面の詳細は上下カーソルキーを使って表示する必要があります。

**印字シンボル**は、印字開始 (Print Go) 信号を受け取った時点で印字中を示します。印字シンボルは、非常に遅い印字速度では点滅し、一般的な印字速度では点灯します。

## ジェットオン/オフスイッチ



AM\_0025.eps

ジェットオン/オフスイッチを押すと、ジェットのスイッチが入り、再度押すとジェットのスイッチが切れます。スイッチは2秒以上押してください。これで不本意なスイッチの入切を防止することができます。また、このスイッチには以下の表示ランプも付いています。

**電源オン表示ランプ**は、キャビネット横(A400は裏側)の押しボタンスイッチが押されたときに電源が入っていることを表示します。

**警告表示ランプ(赤)**は、プリンタに故障が発生し、印字できないことを示します。警告表示ランプは、警告が確認されていない間は点滅し、オペレータにより警告が確認されると点灯します。故障が取り除かれると、表示ランプは消えます。

**警告表示ランプ(オレンジ)**は、プリンタに故障が発生し、注意が必要なことを示します。警告表示ランプは、警告が確認されていない間は点滅し、オペレータにより警告が確認されると点灯します。故障が取り除かれると、表示ランプは消えます。

**表示ランプ(緑)**は、プリンタ始動中および停止中は点滅し、印字中および印字準備完了の場合は点灯します。故障が発生したり、ジェットが動作していない場合、表示ランプは消えます。

## トピックキー

それぞれ一連の画面オプションをオープンします。ページ 20 の図を参照してください。



メッセージ編集

メッセージ作成ユーティリティにアクセスします。



メッセージトア

登録されているメッセージにアクセスします。



印字設定

印字中のメッセージの反転、転倒等を制御するユーティリティにアクセスします。



マシン設定

プリンタの設定の調整が可能になります。



サービス

サービスエンジニアによるプリンタの保守サービスが可能になります。



メモリカード

PCMCIA ユーティリティにアクセスします。



メッセージモニタ

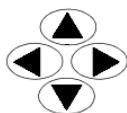
現在印字されているメッセージを表示します。



ロック

パスワード保護をオンにします。

## 汎用キー



カーソルキー



プラスマイナスキー



オプションキー  
バースクロールキー



ファンクションキー



削除キー



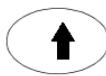
文字セット  
(左、青ボタン)



文字セット  
(右、緑ボタン)



シフトロックキー



シフトキー



エンターキー

4つの固定キーで、画面上でカーソルを動かすのに使用します。

2つの固定キーは、画面上で強調表示バーが付いている値の増減に使用します。これらのキーで増減すると、値は即座に変更されます。

これらの2つのキーは、キーバーの機能をスクロールするのに使用します。

ソフトキーオプションを選択数ために使用します。機能名はすぐ上のキーバーに表示されます。

強調表示バーが付いている入力内容を削除します。

このキーを押して各文字キー上の左上部の青い文字を選択します。また、+キーと-キーを使って画面のコントラストを制御します。

このキーを押して各文字キー上の右上部の緑色文字を選択します。

字体を小文字に変換し、もう一度押すと、大文字に戻ります。

このキーを押しながら英文字キーを入力すると小文字になります。

このキーを押してシステムにデータを保存して作業を完了します。

## ヘルプキー



ヘルプキー

その時点のメニュー画面に関するヘルプ情報を表示します。

## 通貨キー



通貨キー

各通貨文字を入力できます。このキーを単独で押すとマイナー通貨(p、cなど)が、シフトキーと一緒に押すとメジャー通貨(£、\$、など)が生成されます。

## ロックアウト



ロックアウトキーを押すと、フロントパネルがロックされ、担当者不在時の誤操作といった無許可での設定変更を防止できます。ロックアウトを選択した状態では、プリンタの制御はスイッチのオン／オフ、およびその時点で印字されているメッセージの確認のみに限定されます(ラベルモニタキーを押します)。その他全ての機能にアクセスするには、あらかじめ設定しておいたパスワードが必要です。

ロックアウト画面にはプリンタ内蔵時計が表示されておりその他すべての場合には画面番号に置き換えられます。

## パスワード・システム



プリンタ制御のロックアウト画面メッセージモニタ画面には誰でも入力できますが、その他の画面は必要に応じてパスワードで保護することが可能です。パスワード保護には2つのレベルがあります。管理とサービスです。どちらも部外者がデータにアクセスする事を禁じるようになっています。パスワードで保護された画面にアクセスするには、適切なパスワード(またはより高いレベルのパスワード)を入力する必要があります。同一レベル、あるいはより低いレベルのパスワード保護画面にアクセスすると、その後の同一レベル以下の画面へのアクセスにパスワードは必要ありませんが、一度ロックアウト画面に戻ると、パスワードアクセスは解除されます。管理者のパスワードは変更できます。

以下の表に有効なパスワード保護を示します。

| レベル      | 必要なパスワードレベル |
|----------|-------------|
| ロック      | 無し          |
| メッセージモニタ | 無し          |
| メッセージ編集  | 管理          |
| メッセージストア | 管理          |
| 印字設定     | 管理          |
| メモリカード   | 管理          |
| マシン設定    | 管理          |
| サービス     | サービス        |

## ユニコード文字入力

キーで表されない文字を印字に使用できます。このような文字は、ユニコード識別を使ってメッセージ編集やデータ入力ダイアログに入力できます。その他の文字セットキーを押しながら、適切な 4 衔の 16 進数字を (0000 ~ FFFF) 入力します。

### 共通ユニコード文字 (Common Unicode Characters) 画面

|      |    |             |
|------|----|-------------|
| 00A3 | £  | ポンド (英国)    |
| 20AC |    | ユーロ通貨       |
| 0024 | \$ | ドル (米国)     |
| 00A2 | ¢  | セント (米国)    |
| 00A5 | ¥  | 円 (日本)      |
| 20A1 |    | コロン (コスタリカ) |

ユニコードの全リストはユニコード基準を参照してください。

## データの入力と出力

### メモリカード

メモリカードは、メッセージやロゴのコピーやバックアップに使用できる空白のフォーマット済み PCMCIA カードです。このカードは、メッセージやロゴのバックアップとして、またはメッセージやロゴを別のプリンタにコピーするために使用できます。

メッセージ全体 ([ページ 38 参照](#))、ロゴ保存、または個々のメッセージやロゴ ([ページ 34 参照](#)) をコピーすることも可能です。

### バックアップ / 復帰カード

バックアップカードまたは復帰カードは、プリンタの全ての構成データをバックアップまたは復帰するための専用 PCMCIA カードです。このカードは、部分的な構成データを同じプリンタに復帰したり、またはそれを別のプリンタにコピーするためにも使用できます (この場合、プリンタは、マシンタイプ、インクタイプ等が同じでメインプログラムのバージョンが同じものでなければなりません)。部分復帰によって ノズルサイズ、インクタイプ、コンジット長さなどのデータがコピーされますが、ポンプ速度、変調電圧などのデータは含まれません。RAM 復帰はメッセージおよびロゴ情報を復帰させます。

### ユーザーポート

ユーザーポートを通じてプリンタの外部制御が可能です。

## メッセージ作成

メッセージの作成と印字方法を以下に説明します。推奨できる入力を作業例として使用できます。

### メッセージを作成する方法

- (1) メッセージ編集トピックキー  を押します。
- (2) メッセージを入力します(例: abc)。

メッセージには、時計データと連番、シフトコード、またはテキスト領域(下記参照)などを挿入することができます。シンプルなメッセージで継続するには、次のように続けます。

### 時計を入力する方法

- (1) メッセージ編集  を選択した状態で、キーオプションから時計挿入  を選択します。画面は、時計挿入画面の表示に変わり、時計オフセット番号の上に強調表示バーが現れます。
- (2) たとえば2などの数値を入力します。この値は、4つの時計のいずれかを選択します。時計には、時計オフセットオプションを使用してプリンタに入力されたオフセットが含まれています。例えば、現在の日付よりも4週間先の日付をメッセージに挿入でき、その日付は継続的に更新されます。
- (3) 下カーソル  キーを押して、強調表示バーをフォーマットの上に移動します。

時計は、フォーマットの範囲で組み合わされた名前などで構成されます。名前、コード、有効なフォーマット等は、必要に応じて全て変更できます。

- (4) プラスマイナスキー  を使って強調表示バーの日付フォーマットを適当なフォーマットに変更します。
- (5) 下カーソルキー  を押して、強調表示バーを言語(Language)の上に移動します。
- (6) プラスマイナスキー  を使って、強調表示バーの時計言語を英語、アラビア語またはペルシャ語のいずれかの適切な言語に変更します(デフォルトは英語です)。

- (7) キーオプションから OK  を選択します。画面は、時計詳細がカーソル位置に挿入された状態のメッセージの表示に変わります。画面上の時計は更新されませんが、印字されたメッセージには、マスター時計から更新された時計が含まれ、メッセージモニタには、印刷開始信号を受けるたびに正しい時計情報が表示されます。

## 時計オフセットを設定する方法

- (1) メッセージ編集キー  を押します。
- (2) 画面の下部のキーオプションから 時計オフセット (Clock Offsets) を選択します (ラベルの下のキーを押します)。
- (3) 画面は、時計の詳細表示に変わります。プラスマイナスキー  を使って時計番号を変更します。
- (4) 上下カーソルキー  を使って、強調表示バーを変更の必要な値(年、月、日、時、分)に移動し、オフセット値を入力します。
- (5) 各時計のオフセット値が正しければ、画面の下部のキーオプションから OK を選択します (ラベルの下のキーを押します)。

## 特殊フィールド

### メッセージに連番を入力する方法

- (1) メッセージ編集を選択した状態  で、スクロールキーを押してキーオプションから連番を選択します。

画面は、連番を制御するパラメータの表示に変わります。これらのパラメータには、開始番号(下限値)、終了番号(上限値)、およびメッセージ間の増減値(ステップサイズ)が含まれます。開始番号が終了番号よりも小さければ、増減値(ステップ)は自動的に増加し、正数となります。開始番号が終了番号よりも大きければ、増減値(ステップ)は自動的に減少し、負の数となります。また同じ連番は、変更する前に必要に応じて選択メッセージ数に挿入できます(リピート回数)。また、連番の言語は、英語(デフォルト)、アラビア語、ペルシャ語のいずれかです。

前添え字または後添え字、2つの連番の間にバッチリンクを挿入して、より複雑な連番を設定できます。英数字連番の場合、アルファベットと数字の部分が更新される順序(優先順序)を選択できます。以下の例では、AA0000、AA0001…、AX0000～. KK1000まで1ステップずつ増加する連番を作成します。

- (2) 上下カーソルキー を使って強調表示バーを移動して連番の詳細を選択し、必要な値を入力します。例を以下に示します。

下限値: .....0  
上限値: .....1000  
開始番号: .....0  
前ゼロ: .....はい (プラスマイナスキーで選択します)  
ステップサイズ: .....1  
リピート回数: .....0  
言語: .....英語

連番は、画面の一番下に表示されます。

- (3) 更に複雑な連番が必要な場合は、上位 (Advanced) を選択します .
- (4) 上下カーソルキーを使って強調表示バーを移動して連番の詳細を選択し、必要な値を入力します。例を以下に示します。

アルファベット: .....前添え字 (プラスマイナスキーで選択します)  
バッチリンク: .....いいえ (プラスマイナスキーで選択します)  
優先順序: .....数字 (プラスマイナスキーで選択します)  
下限値: .....AA  
上限値: .....KK  
下限文字: .....A  
上限文字: .....X  
開始値: .....AA

- (5) キオプションから OK を選択します。

## メッセージにシフトコードを挿入する方法

- (1) メッセージ編集  を選択した状態で、スクロールキーを押してファンクションキーオプションからシフトコードを選択します。 シフトコード画面が表示されます。シフトコードは開始時間と終了時間(24時間時計システムに従う時間と分)の形式で24個まで、シフトコード名は、印字コード(String)欄に1つ入力できます。上下カーソルキーを使って強調表示バーを移動して、入力または訂正中のデータをマークします。
- (2) シフトコードを入力します。例：Start 08:30、Stop 12:30、String Red。
- (3) キーオプションから OK  を選択します。画面は、メッセージ表示に変わり、現在の時間が指定シフトコードの開始時間と終了時間の間に変わり、シフトコード名(例：Red)がカーソル位置に挿入されます。シフトコードの時間が時間限度の範囲外の場合、メッセージ内のシフトコードの位置には、空白が表示されます。

## テキストフィールドに入力する方法

テキストフィールドは、以前に印字した情報との混在を避けるためにメッセージ内に残しておける空白領域です。

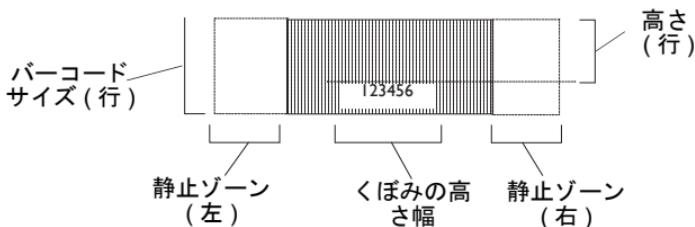
- (1) メッセージ編集  を選択した状態で、キーオプションからテキストフィールド  を選択します。テキストフィールド画面の表示に変わります。フィールドのサイズ(文字単位で測定)を示す値を入力します。
- (2) キーオプションから OK  を選択します。上の手順で入力した値に設定された空白がカーソル位置に現れます。

## マシン読取りコード (MRC) を作成する

メッセージ編集を選択し、以下の手順を新しいメッセージまたは現在作成中のメッセージの一部として実行します。

以下の手順では、以下の項目を決める必要があります。

- (a) MRC タイプ
- (b) MRC タイプに適当な MRC データ
- (c) MRC に関する、人が読み取り可能なテキストの位置 。これは、通常バーコードに挿入されますが、必要に応じてどこでも挿入可能です。
- (d) 人が読み取り可能なテキストのタイプ。これは、通常 MRC と同じデータで、以下の手順に従って設定すると、MRC への修正または更新は、自動的に人が読み取り可能なテキストに適用されます。



手順を実行中は、画面下部にあるキーラベルには、必要なオプションを直ぐには表示しない場合があります。スクロールキー（[ページ 23 参照](#)）を使用して画面でのキーオプションを移動したり画面のラベルの下にあるキーを押してオプションを選択する操作をよく知っておくことが必要です。

また、上下カーソルキーを使用して強調表示バーを移動して表示画面に示される設定を選択する操作をよく知っておくことが必要です。

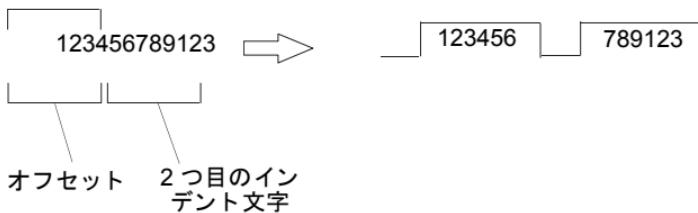
## バーコードを作成する

- (1) 画面上のカーソルを確認してフォントサイズ  オプションキーを、必要な MRC のサイズになるまで押します。
- (2) MRC  オプションキーを押し、MRC のリストからバーコードタイプを選びます。
- (3) MRC データ  を押します。入力画面は空白になりソフトキーが変わります。MRC に入力予定のデータを入力します。OK  を押し、MRC 画面に戻ります。
- (4) 上位キーを押し、標準でないオプションのいずれかを選択し、OK  を押して、MRC 画面に戻ります。
- (5) 簡単なバーコードのみが必要な場合は、OK  を選択します。バーコードが表示されます(選択したバーコードに有効でないデータであれば、エラーメッセージが表示されます)。人が読み取り可能な情報も含めて表示したい場合は、手順(6)にあるように上位  を選択します。

データを視覚的に確認および編集するには、カーソルを MRC イメージに移動して、**編集**を押します。

- (6) バーコードデータは、人が読み取り可能な形式でバーコードの後に印字できます。または、図に示されるようにバーコード内に識別を挿入できます。EAN 13 等の一部のバーコードは、二重識別を使います。上位を選択します
- (7) 上位を選択した状態で、識別幅を設定します。ぴったり収まるようにするには、この幅はストローク単位で測定します。デモンストレーションのためには、1000 などの大きい数字を入力してバーコード内で一番大きい幅を設定します。
- (8) 識別の上のバーコードの高さを行数で入力します(前ページの図参照)。
- (9) 必要に応じて、バーコードの始めと終わりに静止ゾーン(クリアスペース)を挿入するための値(ストローク単位)を入力できます。
- (10) OK  を選択して、バーコード画面に戻ります。
- (11) OK  を選択して、メッセージ編集画面に戻ります。この時点で、バーコードには識別内容が表示されます。

- (12) 画面上のカーソルを確認してフォントサイズ  オプションキーを、必要なバーコードサイズになるまで押します。バーコードテキストを識別に挿入する場合、そのテキストは、識別内に収まる高さでなければなりません（そうでない場合は、テキストはバーコードの外側に挿入されます）。その後、カーソルキーを使って必要な位置にカーソルを移動します。
- (13) MRC テキスト  を選択するか、またはバーコードが 2 つの識別を使用する場合は、手順 (17) に進みます。
- (14) 文字数を強調表示し、バーコード文字数を入力します。
- (15) OK を選択します
- (16) バーコードは、人が読み取り可能なテキストも含めて表示されます。このテキストは、必要に応じて文字スペースまたは幅の狭いスペース（シフトキー + スペースキー）を入力して再度位置決めできます。
- (17) 2 つの識別を使用しているバーコードでは、選択した読み取り可能文字は 2ヶ所に置かれます。MRC テキストを選択します
- (18) 文字数を選択し、1 つ目のインデントに挿入する文字数を入力します（これは通常、合計文字数の半分になります）。オフセット値をゼロのままにします。



- (19) OK  を選択し、必要な文字が 1 つ目のインデントに表示されていることを確認します。必要に応じて、カーソルを 2 つ目のインデントの始めに移動します。
- (20) MRC テキスト  を再び選択します。
- (21) オフセットを選択し、表示される必要のない文字数を入力します。文字数を選択し、オフセットの後の 2 つ目のインデントに挿入する文字数を入力します（通常、合計文字数の半分になります）。
- (22) OK  を選択し、必要な文字が 1 つ目および 2 つ目のインデントに表示されていることを確認します。

## ロゴを複数入力する

ロゴファイル (.dat file) をプリンタに入力するには次の手順を実行します。

- (1) リストストラップを着用し、エレクトロニクス内部ドアにプラグを入れ、.dat ファイルを含んだ PCMCIA カードを差し込みます。
- (2) メモリカードメニューに移り、「ロゴ入力」を押します。

## 1 つのロゴを入力する

1 つのロゴファイル (.lgo ファイル) をプリンタに入力するには次の手順を実行します。

- (1) リストストラップを着用し、エレクトロニクス内部ドアにプラグを入れ、.dat ファイルを含んだ PCMCIA カードを差し込みます。
- (2) メッセージ登録メニューに移り、「ロゴ登録」を押し、「インポート p:\」を押します。

## メッセージの保存

- (1) メッセージ登録キー  を押します。(画面が変わり、以前のメッセージ名が表示される場合がありますが、これは無視してください。)
- (2) メッセージ保存 (Save Message)  を画面の下部のキオプションから選択します(ラベルの下のキーを押します)。
- (3) メッセージ名を入力します(例:「Example」)。
- (4) キオプションから OK を選択します(ラベル下のキーを押します)。

## メッセージの印字

- (1) メッセージ登録を選択した状態で、スクロールキーを押しキオプションからメッセージ印字を選択します。
- (2) メッセージ印字の下のキーを押すと、「メッセージ印字準備中 (Message Ready for Printing)」と表示されます。この時点で、プリンタが印字準備完了状態であれば、印字開始信号ごとにメッセージが印字されます。

注意: オンラインメッセージが変更された場合、その変更内容を反映するためにメッセージ印字を再度押す必要があります。

# 印字パラメータ



メッセージが作成されたら、印字パラメータにより、オフセット、幅と高さ、遅延、向きなどの印字方法を設定します。

## メッセージオフセット

注意：CP のオプションでは利用できません。



|                 |         |     |
|-----------------|---------|-----|
| 状態：印字準備完了       |         | 200 |
| 前方オフセット（ストローク）： | 0       |     |
| 後方オフセット（ストローク）： | 0       |     |
| オフセット モード：      | グローバル使用 |     |
| メッセージオフセット      |         |     |
| キャンセル           | OK      |     |

通常の印字スタート位置と必要な印字位置間のオフセットを入力できます。この開始位置は、印字開始位置の値に追加されます。

先方オフセット : ..... 0 ~ 9999 の範囲で先方印字のスト

(Forward Offset) ロークオフセットを入力します。

後方印字オフセット : ..... 0 ~ 9999 の範囲で後方印字の  
(Reverse Offset) ストロークオフセットを入力します。

オフセットモード : ..... オン、またはグローバル使用を選択します。  
(Offset Mode)

オプション :

オン (On):

グローバル使用 :

(Use Global)

ここで設定した値を使用します。

印字設定の設定内容を使用します。

ファンクションキーオプション :

キャンセル (Cancel)

変更内容を破棄します。

OK

新しい設定内容を受け付けます。

## 印字開始位置

注意：各印字フォーマットには、工場設定としてプリンタに設定されている最小遅延値があります。この値は、今後使用するために記録しておく必要があります。プリンタにこの最小遅延値よりも小さい値を設定すると、印字の際にエラーメッセージが表示されます。記録しておいた最小値がない場合、受け付けられる可能な値が見つかるまで印字開始位置の値を増やします。製品センサまたはプリントヘッドには、再度位置決めが必要な場合があります。

- (1) 印字設定 キーを押します。

- (2) スクロールキーを使って、画面下部のキーオプションから **印字開始位置 (Print Delay)** を選択します。 
- (3) メッセージを製品に正確に印字するために必要な位置の変更を示すストローク数を入力します。
- (4) 画面下部のキーオプションから **OK**  を選択します。

## 文字の高さと文字幅

- (1) 印字設定を選択した状態で、画面下部のキーオプションから **文字高さ変更 (Change Height)**  を選択します。
- (2) 必要な高さの値を入力します。
- (3) 画面下部のキーオプションから **OK**  を選択します。
- (4) スクロールキーを使って、画面下部のキーオプションから **文字幅変更 (Change Width)**  を選択します。
- (5) 必要な幅の値を入力します。
- (6) 画面下部のキーオプションから **OK**  を選択します。

## メッセージ方向

### 反転印字

メッセージは、全ての印字で反転印字、または特定の製品数または印字回数の後に通常と反転方向を交互に切り替えることができます。

- (1) 印字設定  キーを押します。
- (2) 画面下部のキーオプションから **反転制御**  を選択します。
- (3) プラスマイナス  キーを使って反転印字方向 (Reverse Orientation) をオンに設定します。
- (4) 画面下部のキーオプションから **OK**  を選択して連続反転印字を続けます。
- (5) 別の方法として、通常と反転方向の切り替えを制御するために、**動的制御 (Dynamic Control)** を選択します。 
- (6) 動的制御がまだ開始されていない場合、画面には、**反転印字方向 (Reverse Orientation)** が表示されます。プラスマイナス  キーを使ってオン (On) を選択します。
- (7) **製品数量 (Counted Products)**  または **リピート回数 (Counted Repeats)** を必要に応じて選択します。

- (8) プラスマイナス  $\ominus$   $\oplus$  キーを使って、必要に応じて、初期印字方向 (Initial Orientation) をオン (反転) またはオフ (通常) に設定します。
- (9) 上下  $\blacktriangle$   $\blacktriangledown$  カーソルキーを使って強調表示バーをカウント (Count) に移動し、切り替え間の製品数を入力します。
- (10) 画面下部のキーオプションから OK  を選択して特別な設定画面に戻ります。

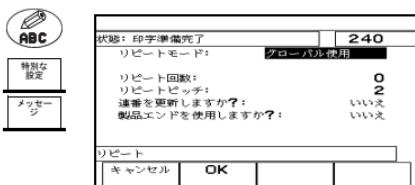
動的操作をキャンセルし、連続操作に戻るには、静的制御 (Static Control) を選択します。

## 転倒印字

メッセージは、全ての印字で転倒印字、または特定の製品数または印字回数の後に通常と転倒方向を交互に切り替えることができます。手順の設定は、反転印字と似ていますが (下記)、特別な設定メニューで転倒制御 (Inverse Control)  を選択します。

## リピート印字

注意 : CP のオプションでは利用できません。



連続印字、指定数またはピッチ値までのリピートカウント、または印字設定から入力されたグローバル設定のいずれかを選択できます。時計、シフトコード、連番などのメッセージ

内容は、メッセージが印字されるごと、または新しい製品が検出された時にのみ更新できます。

リピートモード (Repeat Mode): .... オフ、カウント、連続、グローバル使用のいずれかを選択します。

リピート回数 (Repeat Count): ..... 1 ~ 99 の範囲で入力します。

リピートピッチ (Repeat Pitch): ..... 2 ~ 9999 の範囲で入力します。

連番更新しますか (Update ..... 'はい' または 'いいえ' を選択 Numbers for each repeat) : ? します。

製品エンドを使用しますか (Use Product End) : ? 「はい」 または 'いいえ' を選択します。

オプション :

グローバル使用 (Use Global): 印字設定の設定内容を使用します。

カウント (Counted): リピート回数の値を使用します。

連続 (Continuous): 連続的にリピートします。

## ファンクションキーオプション：

キャンセル (Cancel)

変更内容を破棄します。

OK

新しい設定内容を受け付けます。

## メッセージ入力

注意：CP のオプションでは利用できません。



|                        |            |
|------------------------|------------|
| 状態：印字準備完了              | 780        |
| 既に存在しています、<br>上書きしますか？ |            |
| メモリカード 上書き？            |            |
| キャンセル                  | スキップ       |
| 上書き                    | すべて<br>上書き |

うかの確認を要求するメッセージが表示されます。

## ファンクションキーオプション：

キャンセル (Cancel)

動作を実行せずに前の画面に戻ります。

スキップ (Skip)

上書きしません。

上書き (Overwrite)

画面に示されたメッセージを上書きします。

すべてを上書き (Over Wrt All)

すべてのメッセージを上書きします。

## メッセージの出力

注意：CP のオプションでは利用できません。



|             |             |
|-------------|-------------|
| 状態：印字準備完了   | 120         |
| メモリカード出力OK  |             |
| メッセージ<br>出力 | メッセージ<br>入力 |
| ロゴ<br>出力    | ロゴ<br>入力    |

メッセージストア全体をPCMCIAカードに出力できます。PCMCIAカード上の既存メッセージは上書きされます。

## 障害の検出

### プリンタ故障

問題について、考えられる原因および対策を以下に記します。

#### 電源表示ランプが点灯しません

電源異常です。

電源を復旧してください。

ヒューズの不具合です。

ヒューズを交換してください。

#### 印字しません

メッセージ入力ミスです。

入力したデータを点検してください。

製品検出センサが接続されていないか、不具合が生じています。

センサを点検してください。

文字幅設定が小さすぎます。

文字幅を再設定してください。

シャフトエンコーダに不具合が生じています。

シャフトエンコーダとコネクタを点検してください。

外部ストローク切り替えが選択されています（エンコーダが実装されていない場合）。

内部ストローク切り替えに変更してください。

メッセージ印字が押されていません。

メッセージ登録またはメッセージ編集画面のメッセージ印字を押してください。

#### 印字位置が不適当です

印字開始位置の設定ミスです。

印字開始位置を再設定してください。

センサの位置が不適当です。

再度センサの位置を合わせてください。

メッセージの先頭もしくは末尾に空白が挿入されています。

入力したデータから空白を消去してください。

## **印字サイズが小さすぎます**

文字高さ調整が正しくありません。

文字高さを調整してください。

偏向板でのジェットアライメントが正しくありません。

ジェットアライメントを点検してください。

インク圧力が高すぎます。

インク圧力を確認し、必要に応じて再設定してください。

偏向板に溶剤が残っています(クリーニング後)。

偏向板を乾燥させてください。

プリントヘッドが製品に近すぎます。

プリントヘッドの位置を点検してください。

装着したノズルのサイズが違います。

点検し、必要に応じて交換してください。

## **ガターからインクがあふれています**

ガターフィルタが詰まっています。

ガターフィルタを交換してください。

ガターチューブが詰まっています。

ガターを洗浄して詰まりを解消してください。

ガターから空気が漏れています。

空気が漏れていないかどうかガター回路を点検してください。

バキュームポンプヘッドが故障しています。

ポンプヘッドを点検、交換してください。

圧力の設定が正しくありません。

圧力を調整してください。



本ユーザーガイド（P/N 6-0199548）では、Domino 製品の使用方法を説明します。詳細については、CD-ROM に入っている製品マニュアルを参照してください。

コーンズ ドッドウェル  
コーディング株式会社  
東京都大田区西蒲田8-20-80  
アゼル3号館  
電話 : 03-3736-2731  
ファックス : 03-3736-2734

Domino Printing Sciences plc  
Bar Hill  
Cambridge CB23 8TU  
England  
Tel: +44 (0)1954 782551  
Fax: +44 (0)1954 782874  
Email: [enquiries@domino-uk.com](mailto:enquiries@domino-uk.com)